

— 各県別農薬事故数 —  
(自、他殺及含未遂、既遂)

一般農民十九名（18名）の異常者が認められました。パラチオン中毒の本体は、血中のコリンエステラーゼ活性値の低下にあるといわれるように、からだの中で神経の信号を伝達するのに欠かすことのできない、この酵素の活性値が低下しているのです。しかし、これらの人々はほとんど症状がないので多少調子がおかしいとか、頭が少し痛いと感じる程度ではごく当り前に働らいてしまっています。したがって、この「潜在性中毒期」の存在のため、無理がかさなつて、実際には毒性が知らないうちに蓄積されてきて、突然ひどい症状（ひきつけ、神経マヒ）をおこして予期しない破壊をひきおこすことになるのです。

県	中毒	死亡	計
北海道	12	9	21
青森		26	26
岩手	2	1	3
宮城		4	4
秋田		11	11
山形	14	24	38
福島	6	44	50
茨城	4	61	65
栃木	9	7	16
群馬	6	11	17
埼玉	20	44	64
千葉		19	19
東京		17	17
神奈川	5	15	20
新潟	7	24	31
富山	4	2	6
石川	1		1
福井	3		3
山梨		21	21
長野	6	20	26
岐阜	2	8	10
静岡	15	36	52
愛知	16	36	52
三重	1	14	15
滋賀	5	1	6
京都		5	5
大阪		4	4
兵庫	3	10	13
奈良	6	11	17
和歌山		17	17
鳥取	3	6	9

島根	3	6	9
岡山	1	1	2
広島	2	31	33
山口	12	19	31
徳島	1	15	16
香川	1	27	28
愛媛	1	27	28
高知	4	11	15
福岡	21	29	50
佐賀	1	16	17
長崎	5	19	24
熊本	8	23	31
大分	8	32	40
宮崎	9	16	25
鹿児島	3	29	32
合計	227	808	1,035

そういうときにはまた、はかにあきらめがよいのも農民の特徴のようです。ご承知のように、ハウス栽培になりますと、冬でもあのビニールハウスの中で農薬を四日に一回は必ず散かなければならないので、皮膚も肺も、口